

会員参加型の会報誌を目指しています。
どのような記事でもかまいませんので、
お気軽に広報担当までお寄せください。
郵送でもFAXでも受け付けています。

菜の花

発行日：平成20年5月24日

発行所：千葉県訪問看護ステーション連絡協議会

発行責任者：会長 佐野 けさ美



第10号

INDEX

- 医療保険報酬改訂について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1～2
千葉県訪問看護ステーション連絡協議会 会長 佐野 けさ美
- ステーションMAP・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 研修報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
多古町訪問看護ステーション
- 「千葉県地域リハビリテーション協議会」を活用しましょう！・・・・・・・・5
千葉県訪問看護ステーション連絡協議会 副会長 長谷川 芳代
- ステーション紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5～8
新松戸ロイヤル訪問看護ステーション/岬訪問看護ステーション/
稲穂訪問看護ステーション/東庄町訪問看護ステーション
- ステーションの取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8～9
訪問看護ステーションゆうこう
- 菜の花写真集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- 編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

医療保険報酬改訂について

千葉県訪問看護ステーション連絡協議会
会長 佐野けさ美
(みやのぎ訪問看護ステーション)

平成 20 年 4 月より医療保険の大幅な改訂がありました。
今回の改訂の基本的な考え方は

- 1、 安心、信頼の医療の確保と予防の重視
 - (1) 患者の視点に立った安心、安全で質の高い医療
 - (2) 生活習慣病対策の推進体制の構築
- 2、 医療費適正化の総合的な推進
- 3、 超高齢社会を展望した新たな医療保険制度体系の実現

です。

中でも後期高齢者医療のあり方に関して

- 1、 後期高齢者の生活を重視した医療
- 2、 後期高齢者の尊厳に配慮した医療
- 3、 後期高齢者及びその家族が安心、納得の出来る医療

を基本的な視点とし、1、急性期入院医療にあっても、治療後の生活を見越した高齢者の評価とマネジメントが必要。2、在宅を重視した医療。3 介護保健等他のサービスと連携の取れた一体的なサービス提供。4、安らかな終末期を迎えるための医療。を骨子として出来上がっています。

安定した医療保険制度そのものの存続は視野に入れつつ、病院依存の医療を本来の地域医療に戻し、「その人が住みなれた場所で」何時でも医療が安心な状態で受けられるように、在宅療養を推進しています。

訪問看護はその地域での必要性を強く求められる職種として今回の報酬改訂にも大きく係っています。

今年度新たな評価として

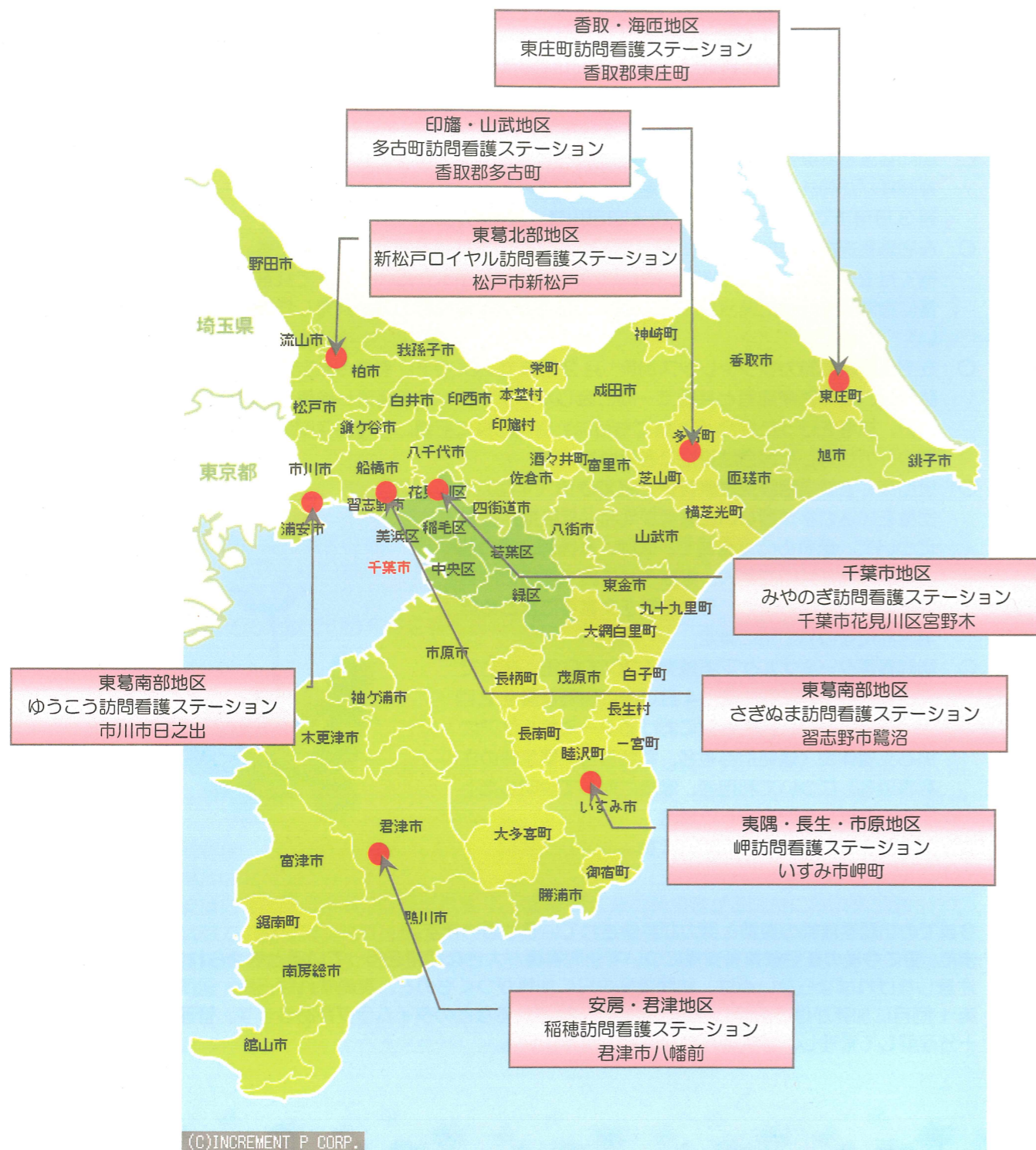
- 退院時共同指導加算：在宅療養支援診療所と連携した場合を廃止し、一本化しています。：病院または介護老人保健施設を退院、退所にあたり、施設医師、看護師と訪問看護師（准看護師は除く）が在宅療養上の必要な指導を文書により提供した場合、退院（退所）後の第 1 回目の訪問看護に 6000 円の加算をする。（特掲診療料別表第 7、第 8 の疾患については 2 回行った場合は 2 回分を加算）
- 退院支援指導加算：特掲診療料別表第 7、第 8 の疾患の利用者が退院日に指示書が出されている状態で訪問看護（准看護師は除く）を実施した場合に 6000 円加算できます。
- 訪問看護基本療養費（Ⅰ）1 日につき：週 3 日目まで（旧 5300）5500 円：週 4 日目以降（旧 6300 円）6550 円
- 24 時間対応体制加算：5400 円：利用者またはその家族からの電話等に常時対応でき、緊急訪問看護を必要に応じて行える体制にある場合（届出）

- 24 時間連絡体制加算：2500 円：利用者またはその家族からの電話等に常時対応できる体制にある場合。（届出）
 - 長時間訪問看護加算：訪問看護基本療養費（Ⅰ）または（Ⅲ）について、人工呼吸器を使用している状態にある者の訪問看護が 2 時間を超えた場合、1 週間に 1 回加算。
 - 特別指示書について：通常は 1 月 1 回利用者の急性増悪等で特別指示書が利用されます。基準告示第 2 の 2 に規程する者の場合は月に 2 回の特別指示書が可能（ア：気管カニューレを使用している状態にある者・イ：真皮を超える褥瘡の状態にある者）
 - 訪問看護基本療養費（Ⅲ）：後期高齢者が多く生活する施設等に居住する患者に対して医療関連職種が訪問診療した場合（算定要件の施設）
週 3 日目まで：4300 円 週 4 日目以降：5300 円
 - 在宅患者連携指導加算（月 1 回）3000 円：在宅で療養を行っている利用者、家族の同意を得て月 2 回以上、医療機関関係職種で文書または電子メール、FAX で共有した診療情報を基に指導等を行った場合：（特別な関係にある保険医療機関のみの共有した場合は算定できない）
 - 在宅患者緊急時カンファレンス加算：月 2 回まで 2000 円：患者の急変時に主治医が患家を訪問し、関係医療職者と共同で一同に会しカンファレンスを開催し診療方針等について話し合い、指導を行った場合（2 者でも可能）看護記録に記載。：（特別な関係にある保険医療機関のみの共有した場合は算定できない）
 - 後期高齢者終末相談支援療養費：2000 円（1 回）：回復を見込む事が難しいと医師が判断した後期高齢者について、患者の同意を得て、医師、看護師、その他の関係職種が共同で本人、家族と共に終末期における療養について話し合い、その内容を文書等にまとめた場合利用者の死亡時に算定
 - 訪問看護ターミナルケア療養費：20000 円：在宅で死亡した利用者に死亡前 14 日以内に訪問看護を 2 回以上行い、かつ、訪問看護におけるターミナルケアに係る支援体制（連絡担当者名、電話番号、緊急時の注意事項等）について利用者、家族に対して説明した上でターミナルケアを行った場合
- 以上のような報酬が決定されています。

今までの訪問看護師の姿勢と努力が評価されていると思います。
また、更に今後の在宅療養者支援について訪問看護が大きな期待を担っていると考えられます。
注意しなければならない点は、訪問実施の日に加算がつくものと、実施すれば退院、退所後の第 1 回目に加算が付いたり、死亡した時に加算されるなどのタイムラグがあります。管理者は十分理解して管理し、請求を行わなければなりません。

■ステーションMAP■

*今回の広報に記事を投稿して下さったステーションのMAPです。



(C) INCREMENT P. CORP.

研修報告

多古町訪問看護ステーション
大里 光枝

印旛・山武地区

H19年度研修会に参加報告(11月24日 土曜日)

『訪問看護ステーションの運営と管理』
～潤いとゆとりあるステーションのために皆でできること～
講師 藤原泰子先生

国際医療福祉大学大学院(元三田済生会訪問看護ステーション所長・WOC認定看護師)

当日は土曜日の午前の為か参加者はやや少な目でしたが、盛り沢山のお話を聞くことができました。管理者として今自分が出来ていること、不足していることについて、ひとつずつ確認することができた良い機会となりました。日頃から気になっている管理者の現状や教育、育成についても問題も取り上げられていました。

<ステーションの管理者の現状>

- ・管理者の背景は、スタッフナース、管理職未経験者など様々で、経営についての教育を殆ど受けている者はいない。
- ・経営状況は管理者の資質により格差が著しい。

<管理者への教育状況>

- ・看護領域のみでなく、事業所の経営者としての能力、役割を期待されているが管理者教育のための標準化した教育プログラムはない。
- ・管理者自身が試行錯誤しながら成長している
- ・管理者が自主的に講習会などに参加している

<管理者に求められる役割>

- * 指定訪問看護事業所の管理者としての役割。
- * 病院組織で求められなかった管理能力が必要。
 - ・組織の目標の明確化、各職員への周知と共有化。
 - ・指揮命令系統の明確化。
 - ・各職員の分掌を決め組織化する。
 - ・看護サービスの管理。
 - ・顧客管理。
 - ・医師及び地域の医療機関との連携。
 - ・情報管理。



病院の中では求められなかったものを訪問看護ステーションの管理者は求められている。その中でどの管理者の苦悩しながらも、頑張っているのが現状だと思います。

藤原先生は済生会訪問看護ステーション管理者の交代時には顧問となり、一年間マンツーマンで指導し、共同で管理者業務マニュアルを作成されたそうです。本来、理想とする形での交代ですが、なかなかそうもいかないのが現状です。しかしこの先少しでも管理者教育が定着し、自分も含めて経営力を身につけた管理者が増えることを願っています。



東葛南部地区

千葉県訪問看護ステーション連絡協議会
副会長 長谷川 芳代
(さぎぬま訪問看護ステーション)

「千葉県地域リハビリテーション協議会」を活用しましょう！

千葉県地域リハビリテーション協議会はH13年に発足しました。

その目的は、「県民ができるだけ健康寿命を延伸し、豊かで生きがいのある生活を送るために、健康づくり、寝たきり予防活動の推進は最も重要であり、さらに、介護の必要な方には悪化させない健康レベルの維持や自立生活に向けたリハビリテーションも重要」であり、「このため地域リハビリテーション支援体制を推進し」「高齢者や障害者がリハビリテーションサービスを連続かつ適切に受けられ、いつまでも健康でいきいきとした生活がおくれる」ことを目指しています。

H14年に「連携指針」を作成（H20年改訂）し、県内1ヶ所の千葉県リハビリテーション支援センター、2次保健医療圏に1ヶ所の地域リハビリテーション広域支援センター（県内9ヶ所）を指定しています。

地域リハビリテーション広域センターは「関係機関相互の連絡支援体制を構築し」「リハビリテーション資源の調査、情報収集、提供を行い」「技術援助」や啓蒙のための「研修会、講演会等」をおこない「福祉用具、住宅改修等の相談への対応等に係る支援」を行うことになっています。

訪問看護ステーションは主治医と連携しながら、利用者にリハビリテーションサービスを提供しています。訪問看護の中で、リハビリテーションの占める割合は少なくなく、地区部会の研修会でも多くのテーマとして取り上げられています。

実際に訪問看護ステーションのリハビリは関節可動域訓練のみならず、嚥下訓練、呼吸器リハなど多岐にわたっており技術の習得や向上が必要とされています。

地域リハビリテーション広域支援センターを活用しない手はないと思いませんか？地区部会で研修会を依頼したり、具体的なリハビリの相談をしても良いでしょう。

地域リハビリテーション広域支援センターは以下にあります。（医療圏の変更があります）

千葉	：千葉中央メディカルセンター	Tel.043-232-3691
東葛北部	：旭神経内科リハビリテーション病院	Tel.047-385-5566
東葛南部	：新八千代病院	Tel.047-488-3251
印旛	：成田赤十字病院	Tel.0476-22-2311
香取・海匝	：旭中央病院	Tel.0479-63-8111
夷隅・長生・山武	：公立長生病院	Tel.0475-34-2121
安房	：亀田総合病院	Tel.04-7092-2211
君津	：君津中央病院	Tel.0438-36-1071
市原	：千葉労災病院	Tel.0436-74-1111

東葛北部地区

医療法人 明理会
新松戸ロイヤル訪問看護ステーション
関屋 博子

新松戸ロイヤル訪問看護ステーションは、新松戸駅の直ぐ近くにあります。

ステーションの母体は、新松戸中央病院で、併設して居宅介護支援 訪問介護 通所介護があり、地域の方々に総合的なサービスを提供しています。

ステーションスタッフは、看護師4名です。

利用者の方々、家族の方々安心して在宅で暮らせるようなサポートができるよう、知識・技術の向上の為に、それぞれが協力し合い努力しております。

訪問看護は1人でお宅に訪問し、その場で、1人で判断しなければならないという責任の重さや、こわさがあるとよくききます。しかしステーションに帰れば、相談できるスタッフや上司がおり、又は他の職種の方々があり、決して1人ではないことや、療養者や家族の方々と、ゆっくりとした時間の中で、じっくり付き合える楽しさなどがあると思います。

たくさんの訪問看護師の仲間が増えることを願い、また当ステーションも随時スタッフを募集しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

夷隅・長生・市原地区

岬訪問看護ステーション
新井 君江

外房にあります医院併設のステーションです。看護師4名、事務員1名で併設医院のスタッフとも情報交換しながら日々頑張っている「岬訪問看護ステーション」です。

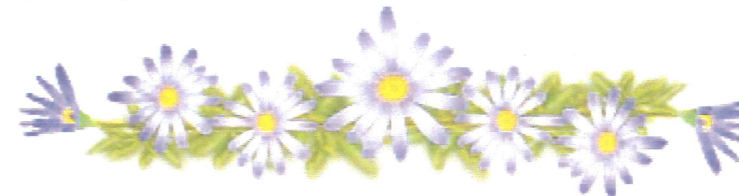
スタッフを紹介します。

スタッフ A：利用者、スタッフから信用も厚くとても頼りになる存在です。たまに坐骨神経痛で悲鳴をあげていたり、神経の使いすぎでO形性O毛症になることも多いです。

スタッフ B：おとなしそうに見えるが話し出したら止まらない。訪問時間を忘れて話し込むことも度々。でも実はしっかり物で貯金がいっぱいあります。

スタッフ C：一番若い30代。その割には早くからババシャツ、ももひきをはき冷え対策をしています。食欲旺盛で夕方になるとお菓子を食べだすB型です。

スタッフ D：食べる事は大好きで便秘症。おできがよくできます。（とくに見せられない場所）。本人はいたってまじめに訪問しているのですが、なぜか、受け持ち利用者さんは色っぽい男性が集中してしまいます。



そんな私達の一日は、医院スタッフとの合同ミーティング後ステーション内で①前日の訪問の状況報告、問題や困っている事の相談、②夜間の緊急対応の報告③当日の訪問予定等、毎朝のミーティングから始まります。その間併設医院の院長先生がコーヒー片手に私達の話の聞いているのか？いないのか？・・・突然、「で、どうなった？」と声をかけてきてくれます。これがとっても良い情報交換になっています。モーニングコーヒー（3人）日本茶（一人）を1杯飲んで、いざ出発です◎ お昼は事務所に戻り院内の食堂で格安のとっても美味しい手料理を食べさせてもらいます。いつも新しい手作り料理に挑戦してくれるので、一番の楽しみかもしれません。午後も訪問、依頼があっても余裕が無く、断らなければならないことのしばしば（心が痛みます）。日々追われるように皆飛び出していきます。

ターミナルから慢性疾患をもった超高齢な色っぽいおじいさんまで、年齢層も幅広く在宅支援しています。体力・食欲には自信があり、精神的にも若い？集団で、困った事・悩みがあれば聞いてくれて相談できる仲間がいます。皆で助け合いながら頑張っています。利用者さんの皆様に、安心して在宅療養していただけるよう24時間体制をとり、いつでも訪問できるよう待機携帯と常に一緒に過ごしている毎日です!!!



安房・君津地区

稲穂訪問看護ステーション
渡邊 零子

私たち「稲穂訪問看護ステーション」は平成15年3月1日にオープンしました。現在常勤4名、非常勤でPT・OT・STの協力を得ながら特にリハビリに力をいれています。

また同法人にクリニック、老人保健施設、通所リハビリテーション、居宅支援事業所があり連携を取り易い状況です。失語症や嚥下障害のみられる利用者様にはSTの指導を受けながら「会話ができるようになった。胃瘻を造らなくても良くなった。」と言う声もあります。OTと訪問看護の連携で要介護5の寝たきりの利用者様が写真にあるような①②の作品を作成し「子供や孫にあげることが出来た。」と喜ばれQOLの向上に役立ちました。

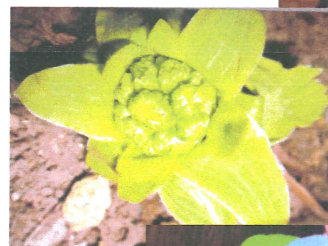
また職員間で、切磋琢磨して「おかげさまでとても良い刺激になり色々な技を頂く事ができます。」とスタッフの声、みんな訪問看護が好きでなりたかった職場、人との関わりが好きで、共に笑い、考え、支えあい・・・「いずれ行く道、健やかに老いて行こう。」今できることを楽しく日々研鑽しています。ほかの写真はわがやの庭で咲いていました。春を感じますね。利用者様にみていただき、ほのかなこちよさを感じていただいています。道を歩くと自然からは元気をいただけます。住み慣れた環境でその人らしさを大切にこれからも協力しながら共に支えあいます。今後ともよろしく申し上げます。・・・・・・A

利用者から学ぶ事も多く技術の未熟さを感じます。時には摘便時指が届かないことを悔やみます・・・等です。そのような時は外の新鮮な空気をいっぱい吸い込み仲間の力をかりながら、気持ちを切り替え頑張っています。・・・・・・B

訪問看護が大好きです。利用者さんやご家族との心の触れ合いや、人々との信頼関係の構築に深い喜びを感じます。もう一つは、四季の移り変わりを体感出来る事。もうじき山桜が咲き、山が桃色に染まります。最高です。・・・・・・C

いつか通る道、と思いながら、利用者様の考え方や生き方を学ばせて頂いています。人生思い通りには、いかないと思いますが、いつか来るその日の為に後悔しないよう「日々是努力」・・・・・・D

※写真とA・B・C・Dの顔が全員一致した場合プレゼントを準備しました。先着2名様までどうぞお葉書ください。



作品①



作品②

香取・海匝地区

東庄町訪問看護ステーション
山本 千津

東庄町訪問看護ステーションは、保健福祉総合センターの中に位置し、居宅介護支援・訪問看護を行っています。居宅介護支援は1名、訪問看護は3名で行っています。小さなステーションですが、スタッフ同士のチームワークは抜群です！何よりスタッフ皆が訪問看護が大好きで毎日イキイキと仕事を行っています。常に、笑顔を絶やさず、若いパワーで利用者様のお宅を飛び回っています。隣には介護療養型病棟・東庄病院と建物が3棟並んで建っています。その為、入院・介護療養・福祉サービスと連携を図りながら地域の方々へ、より良い総合的なサービスを提供しております。

当事業所では、ご本人・ご家族の希望・意思を尊重し、安心してご自宅で暮らせるようサポートしています。これからも日々、知識や技術の向上に努め、多種多様なニーズにお答えできるよう努力していきたいと思っています。皆様どうぞ宜しくお願いします。



東葛南部地区

訪問看護ステーションゆうこう
泉山 明美

ステーションの取り組み

訪問看護ステーションゆうこうでは、H19年12月1日に第11回家族交流会『望年会』を開催しました。家族同士の交流や他サービス事業者との交流や地域でのチームワーク作りなど、地域と密着し活動展開を行うことで、安心して療養生活ができるよう目標を設定し継続しています。望んで年をとり、楽しい思い出を沢山作りたいということで『望年会』と命名しました。利用者、家族、ヘルパーステーション、ボランティア、ケアマネージャー、自治会、失語症友の会など70名あまりの参加があり、楽しい時間を過ごせました。いつもであれば、公民館の中の体育館を利用して行のですが、今回は利用者さんのご家族の計らいでマンションの集会室をお借りしての企画です。

午前中は初めにストレッチ等をやりながらの勉強を少々してから、そのままミニ運動会に入ります。パン食い競争とすいか割りには毎年の恒例ですが、今年は冬瓜割りを取り入れたのでなかなか割れず参加者一同で大笑いしました。お昼には元シェフというシルバーですが強力な協力者の料理もいただき、大満足できました。



午後はジャズ演奏。知っている曲も多く、リズムに乗っている方も多かったです。その後、今回協力していただいた事業所さんの出し物に移ります。毎年このために練習を積み、マジックや歌、寸劇等を発表してくれます。高齢者用のお弁当事業者やリハビリの事業所、失語症友の会やボランティア等の地域活動も紹介し、利用できるようなきっかけ作りもしています。



トラブルもなくあっという間の楽しい時間は過ぎ、ささやかなクリスマスプレゼントをお渡しして終わりました。今年も沢山の思い出作りができましたので、その中から一部紹介したいと思います。

① I氏

ターミナルの利用者さんです。美人のボランティア Ns をつけたらすっかり張り切ってしまう、早めの帰宅を考えていたのにもかかわらず最後まで頑張りました。その間妻はストレス解消のためデパートで買い物です。
記念のアルバムを残すことができました。



楽しくて
帰りたくない・・・



さあ割るぞ～！



妹です。
(^^)



② 小谷くん

前回の広報でも写真を載せた方です。妹もでき、張り切っています。今年は小学校入学も可能となり家庭訪問にて勉強中です。今年も参加してくれました。ジャズ演奏に大声で笑って体を震わせていました。

③ NPO 法人 生きがいと助け合いSSU市川 佐藤氏

NPO 法人のボランティアチームの方です。ゆうこうの強い味方であり協力者です。助け合い、介護保険法でのヘルパー派遣、自立支援法でのヘルパー派遣、送迎、サロン等、ゆうこうと同様型にはまらず活動中です。介護保険法外でも閉じこもりぎみの方のサロン参加も受け入れてくれます。地元の方々の協力も多く、様々な職種や能力を生かした活動となっていますので、困ったことがあればとりあえず相談しています。



佐藤氏

過去にゆうこうでは利用者さんを旅行に連れ出し、花々に囲まれた広い公園で経営等をパラソルの針金に吊り下げてつなぎ、隣で焼肉を食べたりしたこともあります。浜辺に車椅子で出かけ、サーファーの方の協力を得て岸壁から海を眺めたこともあります。楽しかったですがさすがに忙しくなり、書類や記録等でできなくなってしまいました。しかし、この家族交流会『望年会』だけは今後も続けていきたいと思っています。

菜の花写真集

突然ですが、今回広報『菜の花』の表紙を飾るための写真を出かける度に撮っていました。
表紙にはなりませんでしたが、こんな菜の花もありましたので見てください・・・



編集後記

新年度が始まりました。あんなにピンク色だった桜ももうすっかり緑に変わっています。4月から法改正も行われ、いろいろと慌しいのではないのでしょうか。今回はそんな事情も反映してか投稿が少なめでした。厚さはなくとも千葉県訪問看護ステーション連絡協議会広報『菜の花』にはみなさんの気持ちが沢山つまっています。(*^_^*)

『菜の花』へのご意見・ご感想、何でも結構ですので、お送りいただければ幸いです。巻末に投稿用紙もついています。

次号は秋になりますが、研修報告やみなさんの実践、ちょっと思うこと、ペット自慢等、みなさんの投稿をお待ちしています！！表紙を飾る写真も是非お寄せください！！

● 広告募集のお知らせ ●

千葉県訪問看護ステーション連絡協議会では、広報に掲載する広告を募集しています。基本サイズはA6です。(実際は枠の分がありますので、もう少し小さくなります。)

詳細は広報担当者までお問い合わせください。(投稿用紙利用可。)

